

(1) 研究主題 「一人一人により確かな力をつける学習指導のあり方」

～自ら考え表現し、学び合う力を高める算数科の授業づくり～

(2) 研究の仮説

仮説1：学年間・単元間の系統性を重視し、既習事項を明確にした指導を展開することにより、基礎的・基本的な知識や技能が修得されるのではないかと。

仮説2：算数的活動の場を充実させることにより、児童が主体的に考え、見通しをもって課題解決に取り組むことができるのではないかと。

仮説3：学び合うための力（伝える・受け止める・練り合う）を身につけさせることにより、理解をより確かなものにするのではないかと。

(3) 研究計画 3年次計画の3年目

(4) 研究内容（今年度の重点～昨年度の反省から）

